

第 1 問

【解】 (1) 1つの玉がどの箱に入るか人がえて 3^n

(2) n 玉のボールと、2本のしきりのなす入方てかんがえて.

$${}_{n+2}C_2 = \frac{1}{2}(n+2)(n+1)$$

(3) 以下の通りに場合分けする.

$$\left\{ \begin{array}{l} 1^\circ \text{ 1つの箱にしか玉が入らない} \quad \dots 1 \text{ 通り} \\ 2^\circ \text{ otherwise} \quad \dots \end{array} \right.$$

全ての箱を区別すると $3^n - 3$ 通り. てから箱の区別をなくす.

$$\frac{3^n - 3}{3!} = \frac{3^{n-1} - 1}{2} \text{ 通り} \quad \dots \star$$

$$1 \times \text{上から} \quad 1 + \frac{3^{n-1} - 1}{2} = \frac{3^{n-1} + 1}{2} \text{ 通り}$$

(4) 3つの箱の内の玉の数を X, Y, Z とおく. $X+Y+Z=6m \dots ①$ である.

$X \geq Y \geq Z$ とする.

$$\left\{ \begin{array}{l} X=Y=Z \text{ とおいた} \dots \alpha \text{ 通り} \\ X=Y > Z \text{ or } X > Y=Z \text{ とおいた} \dots \beta \text{ 通り} \\ X > Y > Z \text{ とおいた} \dots \gamma \text{ 通り} \end{array} \right.$$

とおく. (2) から

$$\alpha + 3\beta + 6\gamma = \frac{1}{2}(n+2)(n+1) \quad \dots ②$$

又, $\alpha=1 \dots ①$ である. β は, $(6m, 0, 0), (6m-2, 1, 1), \dots, (2m+2, 2m-1, 2m-1)$

$(2m+1, 2m+1, 2m-2), \dots, (4, 3m, 3m, 0)$ まで $2m+1+m=3m$ 通り.

だから, ②より

$$\gamma = \frac{1}{6} \left[\frac{1}{2}(n+2)(n+1) - 1 - 9m \right]$$

したがって, 求める場合の数は

$$\alpha + \beta + \gamma = \frac{1}{6} \left[6 + 3m + \frac{1}{2}(n+2)(n+1) - 1 - 9m \right]$$

$$= \frac{1}{6} \left[\frac{1}{2}(n+2)(n+1) + 3n + 5 \right]$$

$$= \frac{1}{12} [n^2 + 6n + 12]$$

$$n^2 + 6n + 12 = (n+3)^2 + 3$$

【別】

★のかきえりとして, (4) と同じように出来る

$$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 箱にしか入らない} \quad \dots \alpha \text{ 通り} \\ \text{otherwise} \quad \dots \beta \text{ 通り} \end{array} \right.$$

とおく.

$$3\alpha + 6\beta = 3^n$$

だから, $\alpha=1$ として,

$$\alpha + \beta = 1 + \frac{3^n - 3}{6} = \frac{3^{n-1} + 1}{2}$$

$$3^{m-1}, 3^{m-1}, 2$$

$$2^{m+1}, 2^{m+1}, 2^{m-2}$$

$$3^{m-1} - 2^m \quad (6)$$

$$1, 1, 4$$

$$n=1$$

$$2^m, 2^m, 2^m$$

$$n=6m$$

$$9m$$

$$\frac{3}{2}h$$

$$3\left(\frac{n}{6}\right)^2 + 3\left(\frac{n}{6}\right) + 1$$

$$\frac{n^2}{12} + \frac{n}{2} + 1$$

問 第

第 2 問

[解] 中点連結定理から $MN=a$, $ML=c$, $NL=b$ である。

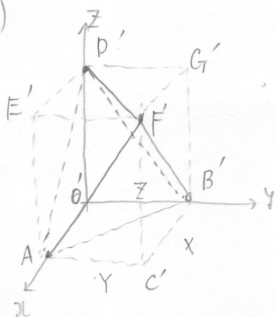
3辺相等から $\triangle AMN \equiv \triangle MCL \equiv \triangle NLB \equiv \triangle LNM$ である。

ここで座標空間において、8点、 $O(0,0,0)$, $A(X,0,0)$

$B(0,Y,0)$, $C(X,Y,0)$, $D'(0,0,Z)$, $E'(X,0,Z)$, $F'(X,Y,Z)$,

$G'(0,Y,Z)$ を考える ($X,Y,Z>0$)

$$\begin{cases} AF' = BD' = \sqrt{Y^2 + Z^2} \\ BF' = AD' = \sqrt{X^2 + Z^2} \\ AB' = DF' = \sqrt{X^2 + Y^2} \end{cases}$$



1) 四面体 $AF'DB$ の4面は

全て合同な三角形である。

したがって、 $a = \sqrt{Y^2 + Z^2}$, $b = \sqrt{X^2 + Z^2}$, $c = \sqrt{X^2 + Y^2}$ となる。

X,Y,Z を設定し、 F' を $A(=B=C)$,

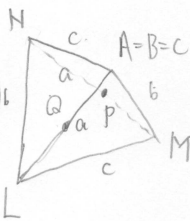
D' を N , A' を L , B' を M と置きかえ

て考えれば良い (このとき X,Y,Z は必ずしも①)

の相手。 $Q(X, \frac{1}{2}Y, \frac{1}{2}Z)$,

$P(0, \frac{1}{2}Y, \frac{1}{2}Z)$

...②



[別解 (x) 知らずかも...]

(1) ②から $PQ = X$...③ である。又①から

$$X^2 = \frac{1}{2}(-a^2 + b^2 + c^2)$$

$$\therefore X = \sqrt{\frac{1}{2}(-a^2 + b^2 + c^2)} \quad \dots ④$$

($X>0$, 余弦定理から $a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos \angle NAM$, $\angle NAM$ は鋭角で $\cos \angle NAM > 0$, $b, c > 0$ で $a^2 < b^2 + c^2$...⑤)
他の $Y-Z$ についても同様のギロんで求めることができる

$$\text{したがって ③, ④から } PQ = \sqrt{\frac{1}{2}(-a^2 + b^2 + c^2)} \quad \dots$$

(2) 四面体の体積 V は立方体の体積から残りの4つの三角錐の体積を引いたもの

$$V = XYZ - 4 \cdot \frac{1}{6} XYZ = \frac{1}{3} XYZ \quad \dots ⑥$$

⑤から④と⑥より、

第 3 問

[解] タンクの半径 R 、水面上を L 、流出開始を原点として、

時刻 t における水面の高さ h 、
水面の面積 S と流出速度 v とする。

題意から v の \sqrt{h} だから比例
定数 k とし

$$v = k\sqrt{h} \quad \dots ①$$

とける。一方、流出する水に関して、

$$v = -S \frac{dh}{dt} \quad \dots ②$$

が成り立つ。さらに、 S, h の間の関係式として $R = h \leq 2R$ の時、

$$S = 2\sqrt{2Rh - h^2} \cdot L \quad \dots ③$$

が成り立つ。①、③を②に代入して、

$$k\sqrt{h} = -2\sqrt{2Rh - h^2} \cdot L \frac{dh}{dt} \quad (R \leq h \leq 2R)$$

両辺の時間

$$k dt = -2L \sqrt{2R - h} dh$$

積分して

$$-\frac{1}{2} \frac{k}{L} t = -\frac{2}{3} (2R - h)^{\frac{3}{2}} + C \quad \dots ④$$

ただし、 C は初期条件による定数。初期条件 $t=0$ で $h=2R$ から、 $C=0$
さらに題意から、 $t=L/k$ で $h=R$ だから

$$\frac{k}{2L} = -\frac{2}{3} R^{\frac{3}{2}} \quad \dots ⑤$$

以下、このもとで $h=0$ になる時の t を求める。④から $h=0$ の時、 $t=t_0$ と
して、 $\dots \star$

$$\frac{k}{2L} t_0 = \frac{2}{3} (2R)^{\frac{3}{2}} \quad \dots ⑥$$

⑤、⑥の式を、

$$t_0 = 2^{\frac{3}{2}} = 2\sqrt{2}$$

よって、求める時間 T は

$$T = t_0 - 1 = 2\sqrt{2} - 1 \quad \dots ⑦$$

ここで、 $(1.414)^2 = 1.999396 < 2$, $(1.415)^2 = 2.002225 > 2$ から

$$1.414 < \sqrt{2} < 1.415$$

⑦に代入して

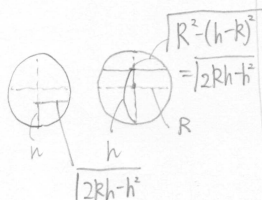
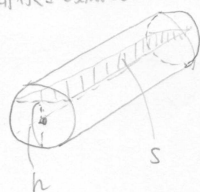
$$1.828 < T_0 < 1.83 \quad \dots ⑧$$

つまり、 $0.828 \times 60 = 49.68$, $0.83 \times 60 = 49.8$ と ⑧から、

1時間 49.68分 < T_0 < 1時間 49.8分

よって、1時間 49分

(関数は連続で $h=0$ で成立)



$$R^2 = h^2 + 0^2 = h^2$$

$$h^2 + h^2 = 2h^2$$